

# 前橋育英高校報

発行 前橋育英高等学校  
 編集 前橋育英高等学校  
 印刷 前橋市朝日が丘町13  
 027-251-7087  
 印刷 上毛新聞社出版局

## 建学の精神

直 潔  
 正 純  
 無 私  
 愛  
 創 立 者  
 中 村 有 三

## 私学における先駆的試みへの理解を

群馬育英学園 理事長 中村有 三



前橋育英高等学校の關係三団体の合同広報誌として「前橋育英高校報」が創刊されて今年で三年目を迎えました。保護者会、同窓会、後援会の皆様には、本校教育の推進に暖かいご理解とご支援をいただいております。礼申し上げます。

さて、今日の我が国は、かつての成長を支えてきた社会や経済の仕組みが行き詰まり、様々な問題が生じています。長引く経済不況を早期に克服し、金融再生などの問題を解決して二十一世紀を希望の持てる活力ある社会にしていくことが求められています。

の充実」や「個性を伸ばし多様な選択ができる学校制度の実現」などが改革の視点とされています。

本校は、建学以来これらの視点を教育の柱とし、育英高校と育英短大との五か年一貫教育や体育科の設置など、私学としての先駆的画期的な教育を実践して、各分野の有為な人材の養成に努めてきました。皆様のご支援を得て、今日では、在校生は一千七百人を超え、また一万四千人を超える卒業生を輩出し、地域社会に評価されるに至っています。また、特に本年は、ワールドカップフランス大会での山口素弘選手の活躍や四国インターハイでのフェンシングの須田貴行選手、ウエイトリフティングの山田政晴選手の優勝など、スポーツの分野における卒業生、在校生の活躍は目覚ましいものがあります。大学進学のみならず、好成績をあげて進学校としての

評価を確立しています。これこそ、各界の英才を養成しようとする前橋育英の建学の精神を具現するものと言えましょう。

教育改革の必要性が叫ばれていますが、生徒を中心に学校と家庭が連携して生徒の個性を伸ばしていくことが学校教育の本

## 勉学の秋

近況報告を兼ねて

学校長 中川豊美



八月の末の頃、東南アジアの人が多数就労している工場の関係者から聞いた話ですが、彼等は大変手先が器用で教えたことをすぐ覚えてしまい、日本の若者はとてもかなわない。彼等の母国では日用品をまだ手作りです。日本では日用品をまだ手作りして、日本の若者は市販されている物を使用し、自分で作ると

来のあり方であります。本校は、皆様のご支援をいただきながら本年五月に就任した中川豊美校長を中心に教職員一丸となって私学としての建学の精神の更なる浸透をはかり、教育の充実に取り組んでまいりたいと存じます。

という体験が殆どないことが原因であろうと嘆いていました。日本人の美德の一つとされている「手先が器用だ」という言葉がすでに死語となりつつあるとすれば、教育にたずさわる一人として、体験学習の大切さを改めて考えさせられた一言でした。さて、長い夏休みも大過なく終わり二学期がスタートしました。九月早々、英語科一・二年生が福島県にあるブリティッシュヒルズにおいて英会話宿舎を、普通科と保育科の二年生が北海道への修学旅行を実施し、いよいよ勉学の秋を迎えました。三年生は、まず就職希望者の入社

試験と大学・短大の推薦希望者の選考を皮切りに、進路活動が本格的に始まりました。この夏休みを振り返ってみると、インターハイでは、五月の県高校総体で男子総合優勝を逸した無念を晴らすかのような大活躍を見せ、二年連続で二人の全国チャンピオンと八種目での入賞者を出す好成績を収めることができました。今大会における群馬県の優勝者は本校の二人だけであり、まさに特筆される成果といえます。

次に、八月の下旬に中学三年生を対象とした学校見学会を開催しましたが、二日間で二千百

余人の参加者がありました。来年度から実施予定の完全週五日制や、二学期制、さらには土曜開放といった新しい試みに、参加した中学生の反応は予想以上に良いと実感いたしました。

また、夏休み直前に一年生が実施した全国模試の結果が九月始めに返ってきましたが、偏差値六〇以上の生徒が英数国いずれの教科とも従来より多くなりました。しかし、もう一方で成績が伸び悩んでいる生徒もおり、いずれの生徒も現状に満足せず、より高い目標に向かって努力できるよう、教科指導にも一層の工夫をしているところです。

## 国際感覚を磨く

教諭 村田澄夫

本校国際文化委員会は、本年度から新たに全校生徒から希望者を募り、ホームステイによる短期海外研修を始めました。今回は、アメリカのシアトルから少し北の田園都市「メリーズビル」が選ばれました。以前か



シアトルにて

は、アメリカのシアトルから少し北の田園都市「メリーズビル」が選ばれました。以前から英語科では独自に海外研修を実施していましたが、一般の生徒を対象としたプログラムは今回が初めてです。ホームステイは一方通行ではなく、お互いに相手を理解し合うことが必要とされます。参加する一人ひとりがホストファミリーから学ぶだけでなく、日本の文化や伝統を積極的に伝えることは、大切な文化交流となります。

教室では体験することのできない生の英語にふれ、ますます国際化の進む中で、正しい国際感覚を磨く上でもホームステイは大変有効な足がかりとなるに違いありません。

M<sub>F</sub>山口素弘君(第22期生)/横浜フリューゲルス

# W杯(日本代表)戦場の肉声

六月十四日 アルゼンチン戦  
開始早々のシュートはやはり落ち着かなかつたのかな？  
「やっぱりボールをさわるまでは緊張したよ。本当に早くボールをさわらせてくれたって思ったもん。だからシュート打ってだいぶ落ち着いたよ」  
——前半、押し込んでる時間に点ほしかつたんじゃない？  
「そうだね。中盤ではボールを持ってたけど崩すには至らない。サイドまでは展開していくけどその先がね。サイドで優先権をもつてやればいいんだけど」



写真提供：日刊スポーツ新聞社

「六本のシュックってあった？」「シュックはあったね。みんな悪い雰囲気になったからさ。そのあと取られなかつたからよかったけど。後半二十分以降は、中盤からサイドっていう思いどおりの展開になったんだけどね。でも、相手はラストパスの寄せとか速いし、最後は自由にやらせてくれない。結果？そりゃ悔しいよ。別に惜しい試合をしにきたわけじゃないし、負けにきたわけじゃないからね。惜しいで終わる時代はとくに終わっているから」山口は本気で悔しがっていた。「次、絶対に勝つからさ」(月刊文藝春秋98年8月号)「W杯日本代表戦場の肉声取材・構成 佐藤俊より転載」

## 私の近況報告

### 昨日のこのように

第9期生 小幡 肇

(小岩金網株(北関東営業所))



近況報告この原稿依頼が入り、まず思ったことは、高校時代って、だいぶ昔のことだなあと、でもその響きは、ときどき何かの会話の中で、その時代に戻り

たいな、とか言っている自分を思い出しました。不思議かな、思い出すことは楽しかったことばかりですね。  
今、社会では、私たちの世代は中間管理職クラスの方が多いと思いますが、世間では大型倒産も相次ぐ中で、常にストレスと共存しながら生きているのではないかと思いますが、「なんのその」と、同窓生の皆さん、すべてが各分野でご活躍されていることと思います。  
さて、現在私は、栃木県に在住していますが、職場の関係で転勤、そして転職といったスタ

## 地球環境の保護へ

第14期生 木暮 広志

(日本シイエムケイ(株)新潟サ(テラライト係長・ISO事務給局))

イルで、大宮と郡山を経由して現在に至っています。引越したとか大変でしたが、環境の違う場所、いろいろな人たちと知り合えたことは、幸せなことだなと思っています。  
高校卒業以来、二十五年ぐらい経った今でも、昨日のこのように忘れません。

私が育英高を卒業してから二十一年の歳月が過ぎ去りました。一年生は高田先生、二・三年は須藤先生、そしてサッカー部では磯部先生にお世話になり数多くのことが思い出されます。同



窓会だよりの原稿を依頼された時にグッドタイミングでヨーロッパのベルギーから帰国したばかりでした。辞令が出たのは平成九年の四月でした。シイエムケイのヨーロッパ工場の技術指導で約二年間、現地で教育するとのことでした。

ベルギーのことについてちょっと説明します。首都・ブラッセルは北緯51度で札幌より北に位置して、冬は寒いように思われますが、メキシコ湾流の関係で意外と温度は低くなりませ

## いつも笑顔忘れずに

第19期生 善養寺明美 (旧姓・木部)

(みさとせんたん 幼稚園教諭)



「リーンリーン」電話の向こうから、懐かしい声がしました。それは、フェンシング部でお世話になった吉田先生でした。あのころの楽しかったことが、走馬灯のように思い出されました。今、私は、二人の子どもを育てながら短い時間ですが、パートで幼稚園の先生をやっています。

ん。しかし天気はあまり良くない日が多く一年の降水量も多いです。十月から三月ごろまで太陽がほとんど出ず、四月ごろから良い天気になると、ベルギーの人々は今までの太陽の出なかつた分を取り返すかのように、一斉に外に出て日光浴を楽しみます。  
ちなみに六月の夏至付近は太陽が夜の十一時近くまで沈みません。そして休暇の過ごし方は、自分の持ち家のある人は、春になると庭の草刈りや垣根の手入れ、家の掃除などを毎日のよう

結婚を機に、保母を辞めて、家庭に入りましたが、チャンスがあればもう一度という時に、今勤めている幼稚園と巡り合いました。朝、なんとなく嫌な時も幼稚園で子どもたちの笑顔を見ると、とても幸せな気持ちになり、一日元気に過ごせます。子どもはすごいパワーをもっているんですね。「育児と仕事の両立は大変ですね」なんてときどき言われますが、決してそんなことはありません。子どもを育てる楽しさと、仕事ができる楽しさが同じ人生、両方ともにできるなんて、とっても幸せで恵まれていると思います。これからもたくさん子どもとふれあっていきたいです。

いつも 笑顔を 忘れずに。  
にしたいへんきれいにしています。  
街中で、庭のない人たちは公園などに出掛けて、のんびりと散歩や日光浴を楽しんでいます。ヨーロッパでの一年半の生活は、私の人生で少し心の幅を広げてくれたように感じます。現在の職場は、地球環境保護のために企業が推進するISO14001の認証取得に向けて、日々頑張っています。毎月出張で群馬にも二回ほど出向くので機会があれば母校に出向き先生方ともお会いしたいと思います。

# スポーツの結果

体育科長 中村 隆 喜

## ●インターハイ●

### 優勝 山田政晴(ウエイト)2連覇 須田貴行(フェンシング)

『輝こう・今この時を・君たち』のスローガンの下に、平成十年度の全国高校総体が香川県で開催された。本校からは十部六十三人の生徒が県代表として出場、昨年同様に好成績を収め全国に『育英あり』の印象を強く与える活躍をした。

最も期待がかけられたウエイトは、二年連続優勝を目指して56キ級に山田政晴(3-A)が出場した。最初のスナッチで92・5キを挙げ一位となり、得意のジャークでは昨年より2・5キ記録を伸ばし最終的に122・5キを成功させ一位。トータル217・5キとなる完全優勝を成し遂げ、見事二連覇を果たした。また、同選手は、日韓ユース大会(八月二十七日)の日本代表となり、階級を62キ級に上げて試合に臨んだ結果、220キの記録で惜しくも第二位に終わった。62キ級に出場した鬼形昌通(2-A)はジャークで自己ベ

ストを出し五位。スナッチで失敗があったもののトータルで八位に入賞する健闘を見せた。フェンシングでは須田貴行(3-B)がエペで見事に優勝。昨年五位の雪辱を晴らした。大会中盤まで本調子を欠いた須田は予選を辛うじて通過、決勝トーナメント前にコーチでもある父親にアドバイスを受け、流れを変えた。奇しくも父親も高松でインターハイ優勝を果たしており親子二代のインターハイ制覇を実現したのである。

校対抗第四位入賞をもたらした。女子でも片平真貴(1-6)が板飛び込みで八位入賞と健闘した。柔道は団体戦の予選リーグでまさかの敗退。個人では横山大輔(3-4)がベスト16にとど

## ●第55回国体●

### 選手団の健闘を期待

第五十五回国民体育大会は、夏季大会が九月十二日～十五日まで、秋季大会が十月二十四日～二十九日まで、いずれも神奈川県を会場として開催される。本校では県内や関東ブロック予選を勝ち抜いた七部二十八人の生徒が出場権を獲得。そのほか本校教諭や卒業生の監督や選手も決定。選手団の健闘が大いに期待される。

- 【参加者】
- 水泳 毒島泰士(2-A)、宮崎一起(1-A)、深見内(2-E)、片平真貴(1-6)、高見次道代(日体大)
  - 陸上 加藤裕樹(3-B)、権沢知紀(1-A)、蜂巣貴雅(1-2)
  - サッカー 平井俊介(3-A)、奥野道彦(3-A)、小久保純(3-B)、篠原利彦(3-B)、大塚壮洋(3-A)、細川健司(3-5)、大河原宗一郎(3-6)、佐藤正美(2-A)、松下祐樹(2-A)、岩丸史也(2-A)、明石悠嗣(2-A)、茂原岳人(2-B)、茂木一希(2-A)、山田耕介監督(教諭)
  - ウエイト 山田政晴(3-A)、鬼形昌通(2-B)、中條桂良(中央大)、高橋仁(群馬綜合GS)、檜原道雄監督(前橋市公園体育施設公社)
  - 自転車 狩野良太(法政大)、所浩四郎コーチ(マツダオートS群馬)
  - フェンシング 須田貴行(3-B)、砂山雄一郎(高商短附教員)、畦上裕嗣(群馬ロイヤルホテル)、岩田尚文(自営)、岡田和美(中央大)
  - 柔道 浅田直樹(3-B)、西野公章明(唐沢満利)、綜合カドシステム)
  - テニス 原田妙一郎(3-3)、松田将十(3-1)、森田恵子(3-6)、塚田美智子(2-10)

まった。このほかにサッカー、自転車、男女テニスの各部が出場し健闘したが入賞には及ばなかった。しかし各部とも将来性のある選手が多く、これからが期待される。

## ●運動部だより●

### 野球部 胎動する野球部

夏の中毛リーグで第二位となり、秋季大会では堂々の第一シードにランク。斉藤昌弘投手を軸とする多彩な投手陣とリードする強肩の酒井捕手とのバッテリー。小武海遊撃手に代表される堅い守備が新チームの特徴。来シーズンが大いに期待される。

【中毛リーグ戦績】

- 1 回戦 7..1 高専
- 2 回戦 7..3 前工
- 3 回戦 12..0 伊工
- 4 回戦 15..0 利実
- 準決勝 6..6 前東

(抽せん勝ち)

決勝 3..6 前商

【秋季大会】

- 9/9 8..2 樹徳
- 9/13 2..0 勢農
- 9/20 5..6 前橋

(延長11回)



新キャプテンの酒井捕手

### サッカー部 天皇杯県予選で優勝 全国大会に!!

県内の社会人の大会に昨年から高校生も参加が認められ、本校サッカー部が初優勝を飾った。

#### 【試合結果】

##### 準決勝

前橋育英 1-0 関南クラブ(前商OB)

##### 準決勝

1..0

三洋電機 2..1 レイティカース(育英OB)

##### 決勝

前橋育英 3..3 (PK勝ち)

※本校チームは県代表として11/29に茨城代表の筑波大と対戦

# 保護者会だより

## 保護者の経済的負担を少なく

会長

笹澤 智 治



今年は、全国高等学校PTA連合会の全国大会、ならびに関東地区私学父母の会連絡協議会が、いずれも本県で開催されました。

全国大会では元総理大臣の中曽根康弘氏をはじめ、文部大臣、群馬県知事、県議会議長、前橋市長ほかのご祝辞をいただき午後から分科会にわかれて各協議会が開催されました。父母の会連絡協議会では全国私学父母の会の会長池田隆氏に講演いただき、公立と私学の違いについてお話しいただきました。

その中で、今や中卒者の九六割が進学する時代、まさに国民教育機関である高校教育を私学が三〇割のシェアを担っているということなのです。にもかかわらず、私立高校の教育費負担の公私格差は五・八倍と依然として



全P連大会

## 現代教育の考

副会長

斉藤 隆

「語り合おう、若者の未来と日本の将来を」考えよう、親の役割とPTAの発展を」をテーマに、第四十八回全国高等学校PTA連合会群馬大会は、八月二十六日午後から全体運営会議を開催。翌二十七日から一日

重要課題として積極的に推し進めていくとお話ししてくださいました。

子どもたちの育成教育に多額の資金を必要とする昨今、少しでも保護者の金銭負担を少なくするということは、心のゆとりにもつながるものであり、教育の質を高めるうえにも必要不可欠なことと思います。

最後にこの紙面をお借りし今回の両大会において、校長先生はじめ、担当先生そして本部役員の方々に大変ご苦労いただきました心より感謝申し上げます。

私たちの世界に感動がなくなり心のふるさとをなくした」とし、大自然や本、社会から学ぶ「受信機」が壊れてしまっている現状を嘆いた。

その理由として、個人主義、物質文明の影響が非常に大きいとし、中曽根氏は「日本の歴史とか、伝統とかを軽視しすぎた戦後の教育基本法は、平和、自

## 本年度の保護者会活動の特徴と動き

本年度のPTA活動は、全P連大会群馬大会がグリーンロード前橋で開催され、群馬県高等学校PTA連合会ではこれを成功させるべく、周到な準備計画を立て各会議を通して、周知徹底を図りながら、五十数年一回めぐってくる、この大会に開催県としての名譽をかけて全国大会を迎えた次第です。そしてこれに引き続いて関東地区私学父母の会連合会の大会も前橋東急インで盛大に開催されました。

これを受けて本年度の保護者会本部役員の方々に「多忙の中、延べ三日間も係員として大会参加にご出席いただき協力されましたこと厚くお礼申し上げます。

大会も無事終了して、県P連を主とする関係者もこのビッグ

由などをうたつたが、国に対する考えは何も書いていない」と問題の原点を突き詰め、「人間的な絆、家庭、郷土、国を離れて教育はない」と訴えた。

また、分科会の東野英心氏は「親がはじめの原因を作っているのではないかと指摘、この思考は、取りも直さず、家庭を顧みず、日本のためただ働くだけの



てみますと今までも例のないことでしょう...」

懇談会にはもちろん担当の先生方も出席し、保護者の方々のご意見やご要望にもお答えしながらのフリートークの集会です。

「全員参加の保護者会活動」にご参加ください。

大会が終わり、ホッとしていることと思います。本当にご苦労さまでした。さて本校の保護者会活動も笹澤会長のもと、すでに新体制でスタートを切っていますが、本年度の主な動きとして「本部役員」と「専門委員会」(総務・文化・体育・生活指導・進路指導・学年活動)との密接な連携が目立ちます。具体的には各専門委員会主催の集会には本部役員も同時出席して実態を把握しながら運営の糧とし保護者会活動をより活発に充実した会にするための積極的な姿が見られます。これまでの本校の長い間のPTA活動をふり返つ

- (事務局 N記)
- 日程消化した専門委員会懇談会
  - 生活指導委員会懇談会—斉藤香代子委員長
  - 進路指導委員会—内藤敬子委員長
  - 総務文化合同委員会懇談会—
- 七月二十五日(土)グラウンドパティオ高崎 四十人出席
- 八月二十一日(金)グラウンドパティオ高崎 二十七人出席
- ※予定十一月六日(金)体育委員会—原澤富江委員長、グラウンドベルズ前橋

# 全国に「育英」の名を知らしめる

## インターハイ入賞者 インタビュー

平成十年度全国インターハイは香川県で開催されましたが、本校運動部の活躍は昨年にもまして大活躍。優勝二人、入賞六人を輩出し、全国に「前橋育英」ありと、知らしめた熱い戦いでありました。今回はその選手達に保護者会の文化委員がスポーツ記者に早変わりしてインタビューしました。

### ウエイトリフティング部



山田 政 晴  
(3-A) 荒 砥 中

Q 優勝おめでとう。去年の三冠に続く快挙ですが？

A 優勝はうれしいのですが、ベストの記録が出せなかったのが残念です。

Q いつ頃から始めたの？

A 荒砥中にWL部があった、中一から始めました。

Q 去年優勝したことでプレッシャーは？

A 今年も優勝しなければならぬと毎日毎日プレッシャーを感じながらの練習でした。本番では自分が成功した姿だけをイメージして臨みました。

Q 今後の目標と将来は？

A 秋の国体で優勝を目指し、



鬼形 昌 通  
(2-B) 前 三 中

大学に進学してオリンピックに出場したいと思っています。

Q WLを始めた動機は？

A 中学で水泳や剣道、卓球などをやったのですが、高校では全国を目指せるスポーツに挑戦しようと考えて、力には自信があったのでWL部に入りました。

Q 来年に向けて練習は？

A 今までは技術面を重視してきましたが、今後は体力面、特に足腰の強化に重点をおいて頑張りたい。

Q 今後の目標は？

A 62kg級は、選手層が厚いのですが、十月の国体で好成績を挙げ、来年のインターハイではぜひ山田先輩のように優勝したいと思っています。

### フェンシング部



須田 貴 行  
(3-B) 殖 蓮 中

Q 優勝の感想は？

A 高一の時インターハイで八位入賞し、去年は自信があった

### ボクシング部



麓 健 介  
(3-A) 豊 岡 中

Q ボクシングを始めたきっかけは？

A (麓) 兄の影響で中三の時から高崎ジムへ通っています。

A (結城) 中学では軟式テニスをやっていたのですが、辰吉選手とかの活躍を見て高校ではボクシングをやるうと決めていま

のですが、決勝トーナメントに入る前から一人の選手ばかり意識しすぎていたため、結果は五位でした。最後の年に優勝できてホッとしています。

Q フェンシングを始めたきっかけは？

A 父(全日本優勝)の影響で小学校四年から始めました。

Q 今後の目標は？

A 北関東大会で優勝を目指して、全日本の大会に出場したいと思っています。卒業後は大学に進み一つひとつの大会に全力でぶつかっていききたい。

Q インターハイ初出場の感想？

A (麓) 三年になって、将来もボクシングを続けたいと思い、何か結果を残そうと真剣に練習に取り組んだから出場できたと思います。

A (結城) 県大会で優勝、関東大会三位、関東ブロック優勝そしてインターハイに入賞できて充実した三年間を過ごせたと思っています。

Q 今後は？

A (麓) 自衛隊の体育学校に行つてボクシングを続け、プロになりたいと思っています。

A (結城) 三年間きつい練習に耐えて根性もできたと思うし、社会人としてこの経験を生かしていきたいと思っています。

### 陸上 部



加藤 裕 樹  
(3-B) 多々良中

Q 三位入賞の感想は？

A 自己ベスト(15分01)には少し及ばなかったのですが結果には満足しています。

Q 育英に進学した理由は？

A 中学では走り幅跳をやっていた、もつと強くなるには育英

### 水 泳 部



毒島 泰 士  
(2-A) 群馬南中

Q 飛び込みを始めた動機は？

A (片平) 中学一年の九月、部活の顧問の野村先生の勧めで個人メドレーから転向しました。

A (毒島) 親の勧めで中一からやっています。

Q 育英に進学した理由は？

A (毒島) スポーツをやる環境が良いこと、特待生として入

しかなかったです。

Q 去年より随分記録を伸ばしていますね？

A 毎日の練習はともきついですが、三段跳びは練習量の分だけ強くなると言われている競技なので、自分なりに頑張ったからだと思っています。

Q 将来は？

A 東海大学の植田先生(元オリンピック選手)の下で練習に励み、オリンピックを目指したいと思っています。

学できる利点があったから。

A (片平) 群馬ダイビングクラブと一緒に飛び込みをやっていた毒島先輩が、育英の水泳部の良さを教えてくれたからです。

Q 練習は？

A (片平・毒島) 夏は県営プールで二〜四時間飛び込みの練習をします。冬は総合体育センターで筋力トレーニングを三時間くらいやります。

Q 来年の目標と将来の夢は？

A (片平・毒島) インターハイ・国体の優勝です。

A (毒島) 国際選手になること。

A (片平) オリンピック出場です。

(取材) 保護者会文化委員 田村・村上・蛭原・山本

前橋育英

# 雄渾

同窓会  
だより

## 志と希望を失わず 使命に生き続ける

同窓会長  
関根 映一  
(第一期生)



同窓会員の皆さまお元気でしょうか。皆さまの中には、卒業されて以来、久しぶりに育英高校を訪問し、大きく発展している母校の姿に感動されている方も、いらつしやると思っています。同窓会報を読んで、母校を懐かしく振り返っていらつしやる方も大勢いると思います。同窓会も、今年の夏に役員総会を開催しました。久しぶりの友人や恩師にも会い、懐かしい思い出にひたりました。

懇親会に参加した友人から、「いっ育英は、野球で甲子園に行けるのか」「早く甲子園で、母校を応援したい」と、新校長先生や、理事長先生を囲んで楽しい語らいが弾み、話題が尽きませんでした。そしてこれを契機に、期別で役員会を設けたらとの提言もあり、大いに交流を図ってみたいと期待するものですね。それにしても、母校の活躍は、目覚ましいものがあり、スポーツ、文化面でも、地元紙で、紹介され、さらに大学進学も多いと聞いています。まさしく文武両道を目指す育英は、私学のなかで不動の位置を占めており、われわれも誇りに思います。

私は、今自分自身をみつめ、志と希望を失わず使命に生き続けたいと思っています。会員の皆さまのご健勝を祈念しあいさつに代えさせていただきます。

愛車ワーゲンの前で



お元気ですか。当然のことだが、古い同窓生には長い年月が、最近の同窓生には短い年月が流れた。学生時代は良かったなあ、とよく口にする。あたりまえである。未だ半人前で、あまり責任のない身分だったもの。そんな

## 親子2代同窓生

第2期生 阿部 康雄 (群馬県警勤務)  
第33期生 武尊 (国際武道大学)



私は昭和三十三年に二期生として育英高校に入学した。今から三十四年前のことである。当時、創立わずか二年目ということで、生徒は新一年生、新

入生の総勢四百余人であり、まだまだ学校の体を急すとはいえず、全体として何とも頼りない存在であった。

息子は小学校五年から続けてきた剣道を高校でも続けたいと志望していた。

しかし、半面、講師、先生方には成熟したものが持つことのないフロンティア精神や、未完のものに対する情熱があふれるばかりにあったように思われる。私自身、公立高校では味わうことができなかったであろう自由な校風を快く感じ、多くの友と出会い、まさに充実した三年間を過ごした。

息子は三年間剣道を続け、今春、国際武道大学へ入学した。お世話になった先生方のご努力にこの紙面を借りて改めて謝意を申し上げたい。

## へたな考え …に似たり

教諭 石田 健

感者の私ですら一つひとつが未だ溶解されずシコリになって心の隅に澱んでいる。他人から見ればなんでもなく見えるものでも当人にとれば重大なことだったりである。

入生の総勢四百余人であり、まだまだ学校の体を急すとはいえず、全体として何とも頼りない存在であった。

息子は小学校五年から続けてきた剣道を高校でも続けたいと志望していた。

なに良かっただろうか。時代は違うが自分の高校時代を振り返ってみるとそれほど楽しいこともなかった。嫌なことの方が多かったように思える。思い出は過去を浄化する、というが、鈍

どんなに時が流れようと色褪せることなく輝いて見えるものがある。それは、友情、かもしれない。あるいは友情など大げさに言わなくともあの時代ちよつとした行為が心に残っている。

息子は三年間剣道を続け、今春、国際武道大学へ入学した。お世話になった先生方のご努力にこの紙面を借りて改めて謝意を申し上げたい。

近況報告この原稿依頼が入り、まず思ったことは、高校時代って、だいぶ昔のことだなあと、でもその響きは、ときどき何かの会話の中で、その時代に戻り



(小岩金綱(株) 北関東営業所)

昨日のこのように  
第9期生 小幡 肇

私の近況報告

たいな、とか言っている自分を思い出しました。不思議かな、思い出すことは楽しかったことばかりですね。

今、社会では、私たちの世代は中間管理職クラスの方が多いと思いますが、世間では大型倒産も相次ぐ中で、常にストレスと共存しながら生きているのではないかと思いますが、「なんのその」と、同窓生の皆さん、すべてが各分野でご活躍されていることと思います。

さて、現在私は、栃木県に在住していますが、職場の関係で転勤、そして転職といったスタ

イルで、大宮と郡山を経由して現在に至っています。引越したとか大変でしたが、環境の違いで、いろいろな人々と知り合えたことは、幸せなことだなと思っています。

高校卒業以来、二十五年ぐらい経つた今でも、昨日のこのように忘れません。

地球環境の保護へ

第14期生 木暮 広志

(日本シイエムケイ(株)新潟サテライト係長・ISO事務局長)

私が育英高を卒業してから二十一年の歳月が過ぎ去りました。一年生は高田先生、二・三年は須藤先生、そしてサッカー部では磯部先生にお世話になり数多くのことが思い出されます。同窓会だよりの原稿を依頼された時にグッドタイミングでヨーロッパのベルギーから帰国したばかりでした。辞令が出たのは平成九年の四月でした。シイエムケイのヨーロッパ工場の技術指導で約二年間ぐらい現地で教育することになりました。

ベルギーのことについてちょっと説明します。首都・ブラッセルは北緯五一度で札幌より北に位置して、冬は寒いように思われますが、メキシコ湾流の関係で意外と温度は低くなりませ



いつも笑顔忘れずに

第19期生 善養寺明美 (旧姓・木部) (幼稚園教諭)



「グリーンリン」電話の向こうから、懐かしい声がしました。それは、フェンシング部でお世話になった吉田先生でした。あのころの楽しかったことが、走馬灯のように思い出されました。今、私は、二人の子どもを育てながら短い時間ですが、パートで幼稚園の先生をやっています。

結婚を機に、保母を辞めて、家庭に入りましたが、チャンスがあればもう一度という時に、今勤めている幼稚園と巡り合いました。朝、なんとなく嫌な時も幼稚園で子どもたちの笑顔をみると、とても幸せな気持ちになり、一日元気に過ごせます。子どもはすごいパワーをもっているんですね。「育児と仕事の両立は大変ですね」なんてときどき言われますが、決してそんなことはありません。子どもを育てる楽しさと、仕事ができる楽しさが同じ人生、両方ともにできるなんて、とっても幸せで恵まれていると思います。これからもたくさんの子どもとふれあっていきたいです。

いつも 笑顔を 忘れずに。

ん。しかし天気はあまり良くない日が多く一年の降水量も多いです。十月から三月ごろまで太陽がほとんど出ず、四月ごろから良い天気になると、ベルギーの人々は今までの太陽の出なかつた分を取り返すかのように、一斉に外に出て日光浴を楽しみます。

ちなみに六月の夏至付近は太陽が夜の十一時近くまで沈みません。そして休暇の過ごし方は、自分の持ち家のある人は、春になると庭の草刈りや垣根の手入れ、家の掃除などを毎日のよう

街中で、庭のない人たちは公園などに掛けて、のんびりと散歩や日光浴を楽しんでいます。ヨーロッパでの一年半の生活は、私の人生で少し心の幅を広げてくれたように感じます。現在の職場は、地球環境保護のために企業が推進するISO14000Lの認証取得に向けて、日々頑張っています。毎月出張で群馬にも二回ほど出向くので機会があれば母校に出向き先生方ともお会いしたいと思います。

M.F.山口素弘君(第22期生)/横浜フリューゲルス

W杯(日本代表)戦場の肉声

六月十四日 アルゼンチン戦  
開始早々のシュートはやはり落ち着かなかつたのかな？  
「やっぱりボールをさわるまでは緊張したよ。本当に早くボールをさわらせてくれたって思ったもん。だからシュート打ってだいぶ落ち着いたよ」  
前半、押し込んでる時間に点ほしかつたんじゃない？  
「そうだね。中盤ではボールを持ってたけど崩すには至らない。サイドまでは展開していくけどその先がね。サイドで優先権をもつてやればいいんだけど」



写真提供：日刊スポーツ新聞社

六本のシュックつてあつた？  
「シュックはあつたね。みんな悪い雰囲気になったからさ。そのあと取られなかつたからよかつたけど。後半二十分以降は、中盤からサイドっていう思いどおりの展開になったんだけど。でも、相手はラストパスの寄せとか速いし、最後は自由にやらせてくれない。結果？そりゃ悔しいよ。別に惜しい試合をしにきたわけじゃないし、負けにきたわけじゃないからね。惜しいで終わる時代はとくに終わっているから」山口は本気で悔しがっていた。「次、絶対に勝つからさ」(月刊文藝春秋98年8月号)「W杯日本代表戦場の肉声取材・構成 佐藤俊より転載」

# 後援会だより

## 新しき時代に向かって レベルアップ 変わりゆく前橋育英高校を バックアップ

後援会長 前田 勇



六月二十九日、後援会の定期総会が終了しました。

今年、学校でも大きな節目の年となりました。在職七年余の樋口良夫校長が勇退され、代わって、五月一日付で、本校に昭和四十四年から勤務し、教職員を中心的存在であり続けた中川豊美副校長が、第十三代の校

長に就任されました。

他にも、いくつかの制度改革に着手。例えば、来年度からは、時代を先取りし、学校の完全週五日制や、二期制の導入、土曜日の学校開放、普通科コースの再編成が図られると聞いています。

後援会としても、学校の方針を理解すると同時に設備・施設といった教育環境の整備も含め、物心両面からバック・アップしていく決意です。本年度総会でも、関係者の相互理解と友好を深め、今後の学校支援の意気を高める一助として、台湾姉妹校訪問の研修旅行をはじめ、生徒のクラブ活動への援助、来訪者・学校関係者のための駐車場新設などを決定しました。

一層の少子化が進行する厳しい状況の中ですが、新しい時代を切り拓くため、伝統の保育・体育科の充実と共に、「量より質」に重点を置く普通科の成果の大きなことを心から期待するものです。

なお、今後皆さまの後援会活動に対する、ご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

### 後援会主催 今秋、台湾の姉妹校訪問へ 研修旅行

平成五年以来、しばらく途絶えていた研修旅行が、今年の秋十一月十八日(水)～二十日(金の二泊三日の日程で実施されることとなりました。訪問先は台湾です。前橋育英高校の姉妹校である「私立・開南高級商工職業学校」への表敬訪問をはじめ、名所旧跡をめぐる予定です。旅行者は、日本旅行が担当します。(詳しい行程表は別掲のとおり)

なお、募集人員は三十人程度ですが、後援会だけでなく、同窓会・保護者会・それに、学園理事・評議員の方々にも参加をお願いし、楽しく、有意義な研修旅行にしたいと思えます。ぜひ、皆さんの皆さまの参加を期待しております。(申し込みは十月九日までに、事務局根岸まで) ☎〇二七二五二一七〇八七

### 高校駐車場・新設整備計画

## 車は駐車場でひと安心 心もゆとりのひと安心

学校内の駐車場が手狭なため、学校の諸行事や来訪者の方々に、これまで何かと不便・迷惑をおかけしてまいりました。そこで、

校庭南方の上新田町の校有地を活用し、駐車場として新たに整備する案が、今年度後援会総会の中で検討され決議されました。

着工は九月、完成は十月の予定です。また、完成時には、学校北門・正門・南門に移動式案内板が三台設置される他、誘導

小・中学校での不登校が急増しています。

務というのは、「親・保護者は、その子弟に正規の教育を受けさせる義務を負う」ということの意味から保証されていることを意味しているわけです。この「義務と権利」の関係が、親にも子どもにも十分理解されていないのではと思われてなりません。

ひるがえって、高校生の場合は考えるとな登校や、中退問題は単なる義務と権利の問題でなく、本人の自覚と責任が問われてくるでしょう。(S記)

### コラム

#### 義務と権利と責任と

せなければならぬ義務」であり、「子どもたちは、正規の教育を受ける権利」を国と社会全体

言うまでもなく、小・中学校九年間は義務教育です。この義務



造成工事予定地

看板・駐車場出入看板・場内案内サインなども設置されます。

### 広報委員メンバー

- 保護者会 文化委員長 田村 隆
- 後援会 常任理事 城田博己
- 同窓会 副会長 吉田幸一
- 学園 企画室長 馬場八郎
- 高校 教頭 大石紘一
- 高校 事務次長 根岸豊年

### 旅行日程表

日次	月日(曜)	地名	現地時刻	交通機関	日程
1	11/18 (水)	前橋 発 成田 着 成田 発 台北 着	04:30 08:00 10:30 12:55	Aザレア号 EG201便	(台北泊)
2	11/19 (木)	台北滞在	終日		(台北泊)
3	11/20 (金)	台北 発 成田 着 成田 発 高崎駅東口着 前橋駅南口着	13:20 17:25 20:10 23:15 23:40	EG204便 Aザレア号	

旅行代理店 日本旅行 前橋支店  
前橋市千代田町2-2-11  
☎027-232-8323